



オキツモ 防火塗料 フレームコントロール No. 6 シーラー

作成日: 2011.05.26
改訂日: 2012.11.20

1. 使用用途

木部用目止剤(溶剤系)

2. 塗料性状

項目	内容
容姿	1液型
荷姿	1Kg、4Kg、16Kg
色相	クリアー
光沢	艶有
密度(23℃)	0.89g/ml (参考値)
粘度(23℃)	BM粘度計 2号ローター 60回転 200±50mPa・s
加熱残分	9wt% (参考値)
引火点	43℃
発火点	454℃ (低沸点芳香族ナフサ)
貯蔵期間	6ヶ月
危険物表示	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第3種有機溶剤等
有害物質表示	キシレン

注) 上記の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

3. 塗装基準 (※1)

項目	内容		
適応素材 (※2)	壁板、天井などの木材		
素地調整	素材表面のワックス、汚れ、油などをサンドペーパーで取り除き、表面を乾燥させること。		
使用シンナー	100シンナー		
塗装方法	塗装方法 (※3)	ハケ	エアースプレー エアレス
	希釈率(wt%)	0~10	0~10
	塗装回数(回)	1	1
	標準使用量 (g/m ² /回)	80	100
	標準膜厚(Dry)	10μ m	
エアレス塗装条件例	ノズルNo. : 16C11(旭サナック) 圧力: 8~10MPa(2次圧)		

- (※1) 塗装基準は目安です。
本塗料の塗装は、素材への吸込みがなくなり目安として少し光沢が出るまで行ってください。
素材が多孔質な場合(素材への吸込みが激しい場合)は、使用量、塗装回数を増やして塗装してください。
素材に応じた施工仕様(使用量、膜厚等)を設定してください。
- (※2) 水分を10wt%以上含む木材には不向きです。
床、棚、廊下、湿度の高い場所、直接水のかかる場所、屋外には使用しないでください。
- (※3) ローラーでの塗装はやめてください。

乾燥時間 (※4)	温度	10℃	20℃	30℃
	指触	1時間	30分	30分
	半硬化	2時間	1時間	1時間

(※4) 乾燥時間は外気温等、個々の塗装条件によ変動する可能性があります。

4. 使用上の注意点

- 1) 施工仕様書をよく読み適切な塗装仕様を設定したうえで塗装を行ってください。
- 2) 開缶後、堅い塊がなく一様になるまで十分攪拌し御使用ください。
- 3) 下記のような場合の塗装は避けてください。
 - ① 降雨、降雪が予想される場合。
 - ② 素材表面、又は外気温が10℃以下の場合。
 - ③ 露点との差が3℃以内の場合。
 - ④ 相対湿度が85%以上の場合。
 - ⑤ 風の強い場合。
- 4) 本塗料は防火塗料ではありません。
フレームコントロールNo.166(防火塗料)を塗装する際の専用シーラーとして御使用ください。
- 5) 使用後の塗料は皮張り防止の為、密閉して冷暗所に保管してください。
- 6) その他、塗料取り扱いの一般的な注意事項の詳細については、製品安全データシート(MSDS)を御参照ください。



オキツモ 防火塗料 フレイムコントロール No. 166

作成日: 2010.05.26
改訂日: 2012.11.20

1. 使用用途

木部用防火塗料(溶剤系)

2. 塗料性状

項目	内容
容姿	1液型
荷姿	1Kg、4Kg、16Kg
色相	クリアー
光沢	艶有
密度(23℃)	1.13g/ml(参考値)
粘度(23℃)	BM粘度計 3号ローター 60回転 700±200mPa・s
加熱残分	63wt%(参考値)
引火点	41℃
発火点	454℃(低沸点芳香族ナフサ)
貯蔵期間	6ヶ月
危険物表示	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第3種有機溶剤等
有害物質表示	キシレン

注) 上記の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

3. 塗装基準

項目	内容		
適応素材(※1)	壁板、天井などの木材		
素地調整(※2)	-		
使用シンナー	100シンナー		
塗装方法	塗装方法	ハケ ローラー	エアレス エアースプレー
	希釈率(wt%)(※3)	0~10	0~10
	塗装回数(回)(※4)	2	1
	標準使用量 (g/m ² /回)	160	400
	標準膜厚 (total, Dry)	140	
エアレス塗装条件例	ノズルNo. : 25C15(旭サナック) 圧力: 8~10MPa(2次圧)		

(※1) 床、棚、廊下、湿度の高い場所、直接水のかかる場所、屋外には使用しないでください。

(※2) 本塗料を塗装する前に、専用目止剤(フレイムコントロールNo.6シーラー)を塗装してください。

(※3,※4) 希釈量、塗装回数は目安です。
塗装方法に応じて仕様を設定してください。

乾燥時間(※5)	温度	10℃	20℃	30℃
	指触	4時間	3時間	3時間
半硬化	8時間	7時間	7時間	

(※5) 乾燥時間は外気温等、個々の塗装条件により変動する可能性があります。

4. 使用上の注意点

- 1) 施工仕様書をよく読み適切な塗装仕様を設定したうえで塗装を行ってください。
- 2) 開缶後、堅い塊がなく一様になるまで十分攪拌し御使用ください。
- 3) 下記のような場合の塗装は避けてください。
降雨、降雪が予想される場合。
素材の表面温度、又は外気温が10℃以下の場合。
露点との差が3℃以下の場合。
相対湿度が85%以上の場合。
風の強い場合。
- 4) 本塗料を塗装した上に他塗料を塗装すると防火性能が発揮されない場合がありますので絶対にやめてください。
トップコートにはフレイムコントロールNo.167(専用トップコート)を御使用ください。
- 5) 強制乾燥を行うと防火性能が発揮されない場合がある為、塗膜の乾燥は必ず常温で行ってください。
- 6) 使用後の塗料は皮張り防止の為、密閉して冷暗所で保管してください。
- 7) その他、塗料取り扱いの一般的な注意事項の詳細については、製品安全データシート(MSDS)を御参照ください。



オキツモ 防火塗料 フレームコントロール No. 167

作成日: 2010.05.24
改訂日: 2013.06.27

1. 使用用途

フレームコントロールNo.166(木部用防火塗料)専用トップコート(溶剤系、光沢調整剤)

2. 塗料性状

項目	内容
容姿	1液型
荷姿	1Kg、4Kg、16Kg
色相	クリアー
光沢	艶有
密度(23℃)	0.94g/ml(参考値)
粘度(23℃)	BM粘度計 2号ローター 60回転 350±100mPa・s
加熱残分	46wt%(参考値)
引火点	38℃
発火点	288℃(ミネラルスピリット)
貯蔵期間	6ヶ月
危険物表示	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第3種有機溶剤等
有害物質表示	

注) 上記の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

3. 塗装基準

項目	内容		
適応素材(※1)	壁板、天井などの木材		
素地調整(※2)	-		
使用シンナー	100シンナー		
塗装方法	塗装方法	ハケ ローラー	エアレス エースプレー
	希釈率(wt%)	0~10	0~10
	塗装回数(回)	1	1
	標準使用量 (g/m ² /回)	50	65
	標準膜厚 (total, Dry)	15	
エアレス塗装条件例	ノズルNo. : 16C11(旭サナック) 圧力: 8~10MPa(2次圧)		

(※1) 床、棚、廊下、湿度の高い場所、直接水のかかる場所、屋外には使用しないでください。

(※2) 本塗料はフレームコントロールNo.166(木部用防火塗料)専用トップコートです。

乾燥時間(※3)	温度	10℃	20℃	30℃
	指触	6時間	4時間	4時間
	半硬化	12時間	8時間	8時間

(※3) 乾燥時間は外気温等、個々の塗装条件により変動する可能性があります。

4. 使用上の注意点

- 1) 施工仕様書をよく読み適切な塗装仕様を設定したうえで塗装を行ってください。
- 2) 開缶後、堅い塊がなく一様になるまで十分攪拌してから御使用ください。
- 3) 下記のような場合の塗装は避けてください。
 降雨、降雪が予想される場合。
 素材表面温度、又は外気温が10℃以下の場合。
 露点との差が3℃以下の場合。
 相対湿度が85%以上の場合。
 風の強い場合。
- 4) 本塗料は防火塗料ではありません。
 フレームコントロールNo.166の専用トップコートとしてのみ御使用ください。
- 5) 強制乾燥を行うとフレームコントロールNo.166の防火性能が発揮されない場合がある為、塗膜の乾燥は必ず常温で行ってください。
- 6) 使用後の塗料は皮張り防止の為、冷暗所で密閉して保管してください。
- 7) その他、塗料取り扱いの一般的な注意事項の詳細については、製品安全データシート(MSDS)を御参照ください。



施工仕様書

作成日: 2011.05.17
改訂日: 2012.11.20

オキツモ 防火塗料 フレームコントロール No.6シーラー+No.166クリアー+No.167クリアー

●刷毛塗り

工程	商品名	希釈剤	希釈率 (wt%)	標準使用量 (g/m ² /回)	標準膜厚 Dry(μ m)	塗装間隔 (20℃) (※3)	
1	適応基材	壁板、天井などの木材 (水分を10wt%以上含む木材には不向きです。) (注) 床、棚、廊下、湿度の高い場所、直接水のかかる場所、屋外には使用しないで下さい。					
2	素地調整	素材表面のワックス、汚れ、油などをサントペーパーで取り除き、表面を乾燥させること。					
3	下塗 (※1)	フレームコントロール No.6 シーラー	100シンナー	0~10	80	10	16時間以上 7日以内
4	中塗 (1回目) (※2)	フレームコントロール No.166 (防火塗料)	100シンナー	0~10	160	70	16時間以上 7日以内
5	中塗 (2回目) (※2)		100シンナー	0~10	160	70	48時間以上 7日以内
6	上塗 (※2)	フレームコントロール No.167 (光沢調整剤)	100シンナー	0~10	50	15	—

●エアレス塗装

工程	商品名	希釈剤	希釈率 (wt%)	標準使用量 (g/m ² /回)	標準膜厚 Dry(μ m)	塗装間隔 (20℃) (※3)	
1	適応基材	壁板、天井などの木材 (水分を10wt%以上含む木材には不向きです。) (注) 床、棚、廊下、湿度の高い場所、直接水のかかる場所、屋外には使用しないで下さい。					
2	素地調整	素材表面のワックス、汚れ、油などをサントペーパーで取り除き、表面を乾燥させること。					
3	下塗 (※1)	フレームコントロール No.6 シーラー	100シンナー	0~10	100	10	16時間以上 7日以内
4	中塗 (※2)	フレームコントロール No.166 (防火塗料)	100シンナー	0~10	400	140	48時間以上 7日以内
5	上塗 (※2)	フレームコントロール No.167 (光沢調整剤)	100シンナー	0~10	65	15	—

(※1) 下塗(フレームコントロールNo.6 シーラー)の塗装基準は目安です。

素材への吸込みがなくなり目安として少し光沢が出るまで塗装を行ってください。

素材が多孔質な場合(素材への吸込みが激しい場合)は、塗料使用量、塗装回数を増やして塗装してください。

素材に応じた施工仕様(塗料使用量、膜厚等)を設定してください。

(※2) 希釈量、塗装回数は目安です。

塗装方法に応じた仕様を設定してください。

(※3) 乾燥時間は外気温等、個々の塗装条件により変動する可能性があります。

【その他注意事項】

- 施工仕様書、塗料説明書をよく読み適切な施工仕様を設定したうえで塗装を行ってください。
- 開缶後、堅い塊がなくなるまで十分攪拌してから御使用ください。
- 下記のような場合の塗装は避けてください。
 - ・降雨、降雪が予想される場合。
 - ・素材の表面温度、又は外気温が10℃以下の場合。
 - ・露点との差が3℃以下の場合。
 - ・相対湿度が85%以上の場合。
 - ・風の強い場合。
- 施工後、塗膜の上に他塗料を塗装すると防火性能が発揮されない場合がありますので絶対にやめてください。
- 強制乾燥を行うと防火性能が発揮されない場合がありますので塗膜の乾燥は必ず常温で行ってください。
- 使用後の塗料は皮張り防止の為、密閉して冷暗所で保管してください。
- 本施工仕様は、下塗(フレームコントロールNo.6シーラー)、中塗(フレームコントロールNo.166)、上塗(フレームコントロールNo.167)の3コート仕様です。個々の塗料の取り扱いについては、それぞれの塗料説明書を御参照ください。また、その他塗料取り扱いの一般的な注意事項の詳細については、製品安全データシート(MSDS)を御参照ください。